

 発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果 HP公表

事業所名 ことばの相談室ひなたぼっこ

HP公表日 2021年12月6日

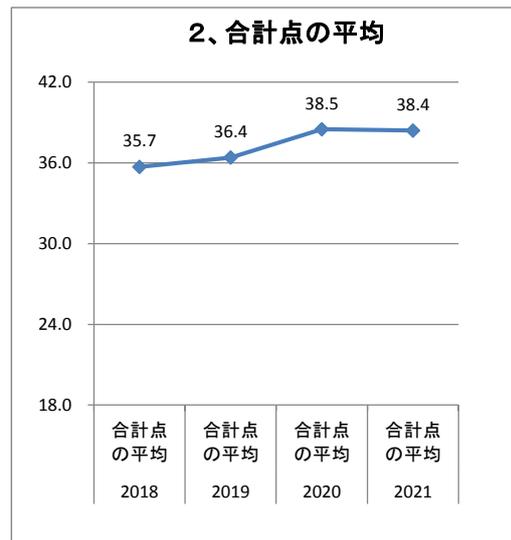
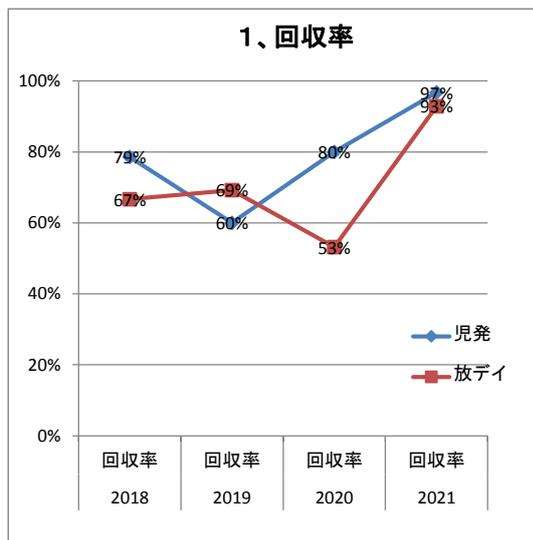
時期:	2021年10月1日～11月21日	職員討議	2021年11月29日
対象:	上記の時期に利用があった利用者全員		
方法:	評価用紙を利用時に直接手渡し、協力を依頼する。 今年は回収率を上げる目的でその場で記入してもらい(スタッフは別室へ移動)、設置した回収箱に入れてもらった。(昨年は一度持ち帰り、次回利用時に投函してもらった)		
集計:	評価は14項目について4段階で評価してもらった。それを点数化(3、2、1、0点)し集計した。合計点は3点×14項目=42点になる。平均得点の最高は3点、最低は0点になる。また、各項目ごとに自由記述欄を設けた。その記述を結果にまとめた。		

結果 1、依頼数と回収数・回収率と合計点の平均は下表の通りだった。

	2018 2018				2019 2019				2020 2020				2021 2021			
	依頼数	回収数	回収率	合計点の平均												
児発	28	22	79%	35.5	25	15	60%	35.3	30	24	80%	38.1	31	30	97%	38.0
放デイ	36	24	67%	36.0	39	27	69%	37.0	47	25	53%	38.8	42	39	93%	38.8
合計	64	46	72%	35.7	64	42	66%	36.4	77	49	64%	38.5	73	69	95%	38.4

結果(グラフ1, 2)

- * 回収率は、児童発達支援が少し増加し、放デイは大幅に増加し、全体としては改善した。
- * 回収率は、児童発達支援と放課後等デイの間で、ほとんど差がなくなった。
- * 合計点の平均は、児童発達支援と放課後等デイで差はない。回収率は大幅に上がったが、合計点はほとんど同じであった。



評価

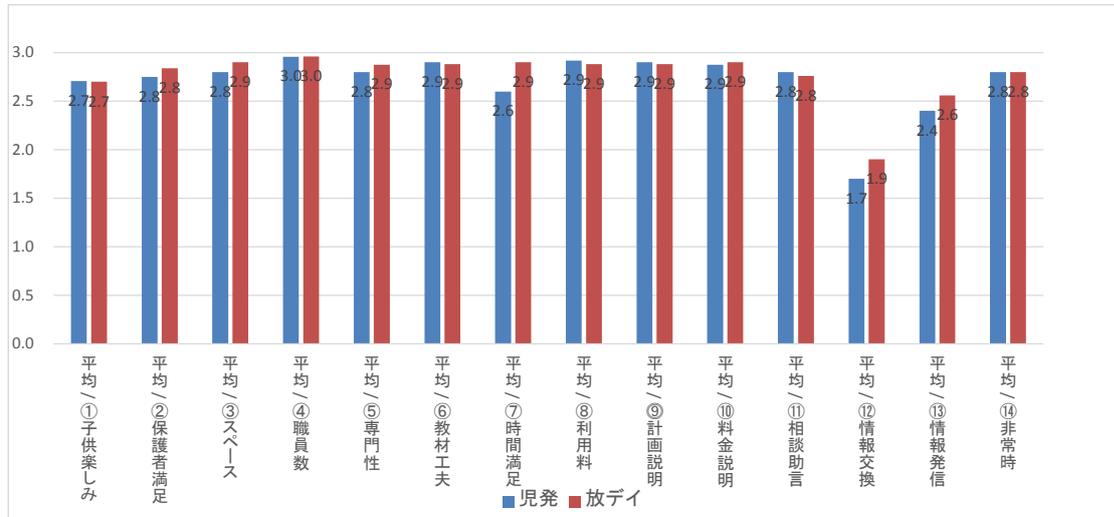
- ・合計点の平均は、昨年とほとんど同じである。・合計点は高いレベルを維持している。
- ・昨年は放デイの回収率が53%と約半数だったが、今年は回収方法を少し変えたのが奏功して、回収率93%に改善した。それでも合計点平均は昨年と大きな変化はなかった。
- ・昨年回収率が低い事を考える時、「回答しなかった人は低評価なので回答せず、その結果回収率が低い。回収率が上がると、得点の下がるかもしれない」という可能性を心配した。しかし、昨年と今年の結果を比較すると必ずしもそうではなかった。回答がなかった人も、回答した人とほぼ同じ回答傾向(評価)であったと推測できる。

対策

- ・アンケート回収方法の改善は効果があり、高い回収率を達成できた。来年もこの回収方法を続ける。
- ・アンケート記入中はスタッフは別室に移動する配慮を、来年以降も継続する。

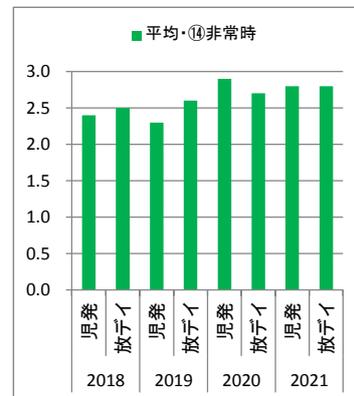
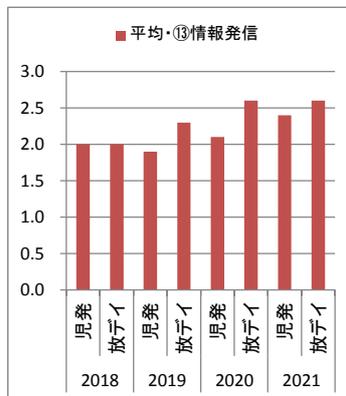
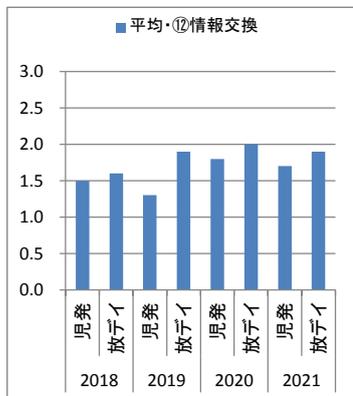
結果 2、各項目ごとの、得点の平均点は下の表と図の通りだった。

値	平均 / ①子供楽しみ	平均 / ②保護者満足	平均 / ③スペース	平均 / ④職員数	平均 / ⑤専門性	平均 / ⑥教材工夫	平均 / ⑦時間満足	平均 / ⑧利用料	平均 / ⑨計画説明	平均 / ⑩料金説明	平均 / ⑪相談助言	平均 / ⑫情報交換	平均 / ⑬情報発信	平均 / ⑭非常時
児発	2.7	2.8	2.8	3.0	2.8	2.9	2.6	2.9	2.9	2.9	2.8	1.7	2.4	2.8
放デイ	2.7	2.8	2.9	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	1.9	2.6	2.8
総計	2.7	2.8	2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	2.7	2.0	2.3	2.8



- * ①子供の満足度から⑪相談助言までの項目は、3点満点中おおむね2.5点以上で、高評価だった。
- * ⑫保護者同士の情報交換が低評価だった。⑬事業所からの情報発信がやや低評価だった。
- * 上記の傾向は、昨年度とほぼ同じだった。しかし数値としては4年間で⑫⑬とも改善している(下表)
- * ⑭非常時の情報発信は20年、21年と改善している。新型コロナの影響で度々通信を発行したのが評価につながったと思われる。

		平均・⑫ 情報交換	平均・⑬ 情報発信	平均・⑭ 非常時
2018	児発	1.5	2.0	2.4
	放デイ	1.6	2.0	2.5
2019	児発	1.3	1.9	2.3
	放デイ	1.9	2.3	2.6
2020	児発	1.8	2.1	2.9
	放デイ	2.0	2.6	2.7
2021	児発	1.7	2.4	2.8
	放デイ	1.9	2.6	2.8



評価と対策

- ・保護者のつどいを土曜日に開催していたが、家の都合等で参加が少なかった。そこで「つどい」をどのように開催したらいいか、曜日、時間、グループ分けなどについて独自アンケートを6月にした。
- ・その結果、土曜日・保護者のみという回答が多かった。従来通りの形態なので、変更しなかった。
- ・今年の11月のつどい参加者は4名と、多くはなかった。そこでつどいで話したことをこくかいつまんでまとめ、通信としてまとめ配布した。来年度の参加者が増えることを期待したい。
- ・保護者のつどいの日程はだいたい決まっている。来年度からあらかじめ年間予定をお知らせするようにする。
- ・室内の掲示板に、「保護者のけいじばん」コーナーを設け、保護者同士の質問応答などを軽い情報交換ができるコーナーとした。
- ・紙の通信の発行や、ブログの更新は、新型コロナ対応で急な閉所や利用制限などがあり、その都度通信を発行し、かなり増えた。それが今回の自己評価アンケート結果には少し反映されたと思う。ブログは本当は子どもが教材を使って活動している写真を掲載したいところだが、個人の顔が映る写真をWEBに乗せるのは危険であり難しい。